

令和4年12月28日

【照会先】健康局結核感染症課

感染症情報管理室長 今川 正紀

課長 補佐 杉原 淳

情報管理係

報道関係者 各位

インフルエンザの流行シーズン入りについて(速報)

令和4年第51週(令和4年12月19日から令和4年12月25日まで)分の感染症発生動向調査で、インフルエンザの定点当たり報告数が1.24となり、流行開始の目安としている1.00を上回りましたので、速報としてお知らせいたします。

なお、「インフルエンザの発生状況について」は、令和5年1月4日(水)公表予定です。



=====
3年ぶりにインフルエンザが流行シーズン入り
新型コロナとインフルエンザの同時流行に注意
=====



令和4年第51週（12月19日～12月25日）の感染症発生動向調査の速報^{※1}で、インフルエンザの定点当たり報告数が1.24（定点数／全国に約5,000ヶ所、報告数／6,103）となりました。流行開始の目安としている1.00^{※2}を上回ったことから、今年もインフルエンザが流行シーズンに入ったと考えられます。

※1 確定値は令和5年1月4日に公表予定。

※2 国立感染症研究所は、保健所毎に定点当たり報告数が10、30を上回った場合、それぞれ流行発生注意報、流行発生警報を発表する。

■**すべての年齢の方に注意が必要**

季節性インフルエンザのウイルスには、A/H1N1亜型（平成21年に流行した新型インフルエンザと同じもの）、A/H3N2亜型（いわゆる香港型）、B型（2系統）の4つの種類があり、春までのシーズン中にいずれも流行の可能性があります。流行しやすい年齢層はウイルス型によって多少異なりますが、今年も、全ての年齢の方がインフルエンザに注意する必要があります。

■**新型コロナとインフルエンザの同時流行に注意**

今年には新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されており、厚生労働省は「新型コロナ・インフル同時流行対策タスクフォース」を立ち上げ、関係団体・学会、経済団体、国・地方の行政機関等と連携し、国民の皆様への情報提供と重症化リスク等に応じた受療行動の呼びかけを行ってまいりました。インフルエンザの流行入りを機に、以下の予防対策を改めて国民に周知してまいります。報道機関の皆様方にも周知への御協力をお願いいたします。

【**基本的感染対策**】

日頃から体温や健康状態のセルフチェックをしていただくとともに、適切なマスクの着脱、手指消毒、換気などの基本的な感染対策の徹底をお願いします。

【**予防接種**】

インフルエンザワクチンの予防接種には、重症化を予防する効果があるとされており、高齢者は予防接種法上の定期接種の対象となっております。新型コロナワクチンの接種と合わせて接種をご検討ください。

【**事前準備**】

発熱などの体調不良時に備えて、検査キット[※]や、解熱鎮痛薬を早めに購入しておきましょう。また、あわせて電話相談窓口などの連絡先を確認しておきましょう。

※ 新型コロナ抗原定性検査キット又は新型コロナ・インフルエンザ同時検査キット

詳細につきましては、**厚生労働省のインフルエンザ対策ホームページ**をご覧ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou01/index.html>

インフルエンザなどの感染症に関する**相談窓口**を開設していますので、ご活用ください。

電話番号／**050-3818-2242**

受付日時／**9：00～17：00** 月曜日～金曜日（土日祝日、12/29～1/3 除く）

この冬は、ワクチン接種・新型コロナ抗原定性検査キット・解熱鎮痛薬の準備を

! 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

感染が拡大する前の接種をご検討ください



- ・ **新型コロナワクチンの接種**
新型コロナワクチンの早期の接種をお願いします。
- ・ **インフルエンザワクチンの接種**
65歳以上の方などの定期接種対象者で、接種を希望される方は早めの接種をお願いします。



発熱などの体調不良時にそなえて、早めに購入しておきましょう



- ・ **新型コロナ抗原定性検査キット**
- ・ **解熱鎮痛薬**
かかりつけ薬剤師・薬局にお気軽にご相談ください。



あわせて確認しておきましょう

- ・ **電話相談窓口などの連絡先**
受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119（救急要請相談）、#8000（こども医療相談）など
その他、生活必需品なども用意しておきましょう。
(体温計・日持ちする食料（5〜7日分）など)



国が承認した新型コロナ抗原定性検査キットを選びましょう

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



国が承認した検査キットの一覧



新型コロナウイルスの 重症化リスクの低い方へ

(高齢者、基礎疾患を有する方、妊婦などと小学生以下の子ども以外の方)

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行すると、発熱外来がひっ迫する可能性があります。

**流行時は、発熱外来の予約が取りづらくなります。
重症化リスクの高い方を守るため、
健康フォローアップセンターをご活用ください。**

喉の痛みや発熱などの症状が出たら…

**まずはご自身で新型コロナ
抗原定性検査キットで検査してください。**

「研究用」ではなく国が承認した「医療用」もしくは「一般用」のキットを使用してください。



国が承認した検査キットの一覧



(医療用)



(一般用)

**陽性だった場合は、地域の健康フォローアップ
センターに登録して自宅療養をお願いします。**



- ・体調変化時には、健康フォローアップセンターにご連絡ください。
- ・検査キットの結果が陰性でも新型コロナやインフルなどに感染している場合があります。感染拡大を防ぐため、体調不良が続くときは、自宅で療養をお願いします。



(健康フォローアップセンターについて)

受診を迷った場合

電話相談窓口などをご利用ください。

受診・相談センターなどお住まいの地域の相談窓口、「救急車利用マニュアル」の参照や#7119(救急要請相談)、#8000(こども医療相談)など



(受診・相談センターについて)

症状が重いなど受診を希望する場合

受診・相談センターに相談し、かかりつけ医・発熱外来の受診や電話診療・オンライン診療をご検討ください。



(救急車利用マニュアルについて)

新型コロナウイルスワクチンの早期の接種をお願いします

